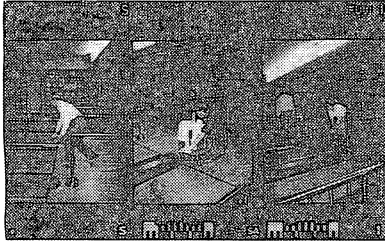


# サロン・あべの

<サロン・あべの> NO. 17 昭和62年11月14日(土)発行



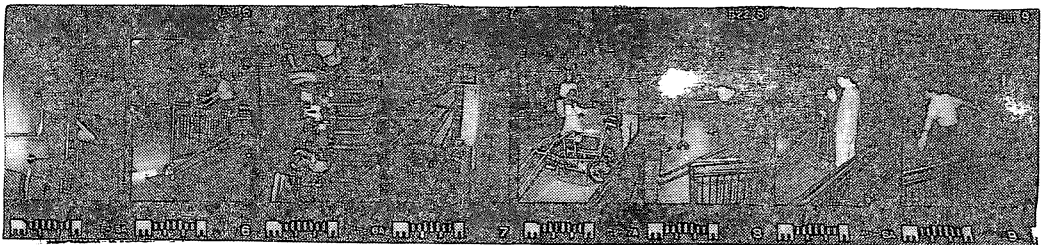
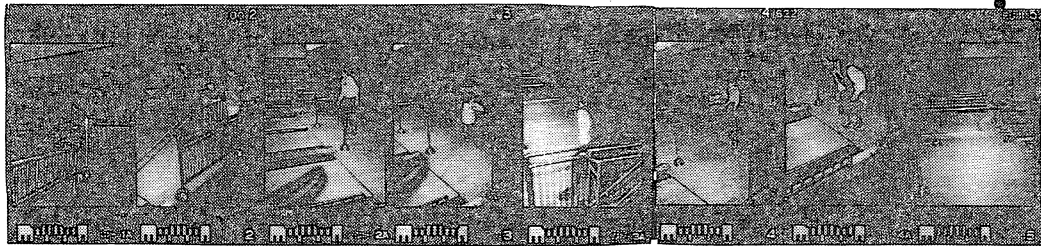
## ボウリング大会

△サロン・あべの▽初 スポーツの山△云い

長居公園の市立身体障害者スポーツセンターで、△サロン・あべの▽初のスポーツの出会い ボウリング大会を開いた。十月十七日(土)は、季節はずれの台風襲来の余波で、雨こそないが、時折強い風が吹く、悪条件で、出足はにぶったが、十三人がボウリングを楽しんだ。

点差僅少の白熱したゲーム展開の末、優勝は天田順子さん、二位山本篤江さん 三位は小倉寛一さん、ブービー賞には旭 純子さんが、それぞれ入賞。オシャレな賞品が贈られた。

天候がよければ、もっとたくさんの人たちとゲームが出来たのに、心は残るが、参加した人たちは、いかにもサロン・あべのらしく楽しく、明るく、ユニークに、めいっばい遊びました。



大会第一号ストライクの小倉寛一さんは三位 スリーの苦しいシヤレで シースルーの封筒が賞品。

いつもは もっとええスコアが出んねんけど 今日 はなんでやる…と首をかしげる阪田富子さん。

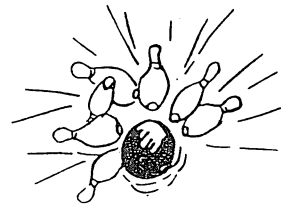
梶谷終一さん いきなり九本倒して「まぐれヤ」と ニッコリ 沖繩でのスラローム競技もガンバッテ。

今大会の名幹事 山本篤江さんは着実にスコアを延ばして 見事Vサインの二位で ハサミを獲得。

ゲームが進むにつれ 尻上がりに調子が出てきたが わずかに及ばず捲土重来を期す倭 博司さん。



楽しく、明るく、ユニークにめいっぱい遊ぶこと、宣言します!!。



ボウリング初体験で 最初とまどいもあったが慣れるにつれ スコアを伸ばした倭 満也子さん。

スコア表示板の操作や投球ホームのコーチ カメラマンと ゲームより裏方が忙しかった橋本昌秀さん。

生れてはじめて優勝した天田順子さんへ テープを切るということで カッターを賞品に。

ボールを投げれない人のために パイプのすべり台があるとは…感心しきりの富田慶子さん。

狙って取れるものではない「ブービー賞」 「狙っていたかいいがあった」と小踊りする旭 純子さん。

石田 律さん 四連続のドブ掃除 五投目にヤットコさ ピンのお義理か? 七本がゴロン。

腰が痛いのが痛いというて ボウリングしてたら 怒られるよって 井上憲一さん大人しく見学。

今大会にオシャレな賞品を…と エネルギーを使い過ぎたのか 成績はいまいちだった河合恵子さん。

今回はやや退屈な話になるかもしれないが、グラスマンとケイツという人がまとめた「グループ活動のテクニク」を紹介します。

グループ活動のリーダーになったり、話合いの司会を担当することになると、グループ活動の難しさを感じるはずで、ここでいう「テクニク」とは、そういう難しさを少しでも少なくしようとする工夫であると考えて下さい。

「一」言葉が喉までできている人を見つけて、その人のために「すき間」をつくる。

話合いでは、特定の数名の人だけが話していて、他の人が話すことができないことがあります。そういう時は「ちよつと待って、〇〇さんの話を聞いてみましょう」と、流れを区切って、他の人が入ることのできる「すき間」をつくるのです。

しかし、このテクニクはタイミングが肝心です。ずつと黙っていた人が、ちよつとしゃべろうとして「言葉がノドのあたりにきている」ことを見つけたら、その人を指名します。はじめっから黙っていたようにする人を指名すると、その人は困ってしまうでしょう。

「言葉がノドのあたりまでできている」人は、そういう表情をします。急にさかんにうなづいたり、司会者をじつと見つめていたり、机の上をトントンと指でたたいたりします。そういう動作をしつかりと見ていることが大切です。

「二」話を積みあげる。  
前の発言を受けて、次の人が発言するよ

## グループ活動のテクニク



うにします。司会者は「〇〇さんはこれこれこういふことを言われましたが・・・」と、前回の発言者の意見のポイントを繰り返し言って、次の発言者がその話の上に自分の話を積み上げられるようにします。

「三」視線が向かいあうようにする。

AさんがBさんの発言を聞いて「Bさんの話に対して私はこう思う」と、司会者の方を向いて発言することがあります。そういうときは「Bさんの方を向いて言ってみよう」と司会者が注意すべきでしょう。グループのメンバーが司会者の方ばかりを見て、メンバー同士が向かい合わないことがよくありますが、それは良くありません。

「四」ざつと全員の顔を見渡す。

グループのリーダーは、グループの話の中から時々、気持ちの上で抜け出て、メンバー全員の顔をざつと見渡します。退屈そうにしている人はいないか、黙りこくってしまっている人はいないか、時々チェック

します。退屈そうにしている人と目が合えば「どうしたの？」というふうに、微笑してもいいでしょう。

「五」「私たち」という言葉が自然に使えるようにする。

「私たち」とは、もちろんサロンのメンバーを意味します。新しく来た人が、その言葉の上でサロンのメンバーのことを「私たち」と言えるようになれば、その人は本当に仲間になるのです。ひとりでも多くの人がサロンを「私たち」と呼んでくれるといいですね。

「六」最後にひとこと言ってもらおう。

話合いが終りに近付いたら、誰からでもいいから（できれば希望者から）順番に一言ずつ全員に、話合いに参加した感想を言ってもらいます。それについては他のメンバーは反論したりせずに、聞くだけにします。これは毎回、習慣のようにして行なえばいいでしょう。（知）

# 自立

(1)

「自立」とは、何事も人に頼らず、自己の生活を作り上げていくように考えられているが、重度障害者の場合は、介護なしで一日を過ごすことは出来ないのも、もっと大きな範囲で考えてみたい。良い意味での自己主張が出来る、物事の判断が出来る、幅広い中からの確な選択が出来る等々の自分を律する自律を考えて欲しい。誰の為にでもない、自分の為の生活を創り上げていくエネルギーを保持されることこそ、自立への一歩ではないだろうか。

今回は、重度脳性マヒの斉藤孝文さんと山本篤江さんに「自立」のむずかしさについてお願いました。

齊藤 孝文

自立については、もう十数年前から友達に言われていることです。

しかし、今もお、年老いた両親と一緒に住んでいるという事は、自立が重度障害者にとって如何にむずかしいかがおわかりいただけると思う。私の場合は、特にべったり二十四時間介護が必要だからです。

つまり、何事においても口が利けないので、自分の意志を伝えるために大変時間がかかるし、飲食についても、何から何まで細かく刻んだり、潰して食べないと、すぐ咽喉をつまらせる。買い物から掃除・洗濯、すべて他人まかせの自立生活に加えて、さらに私には、そういう大きな壁がある。

しかし、だからといってここ二・三年の間に自立か、施設かの決着をさし迫られる時期が来るだろうと思う。施設には、今迄ぜんぜん入ったことがないので、内部事情も雲をつかむような感じですが、施設のことや友達からいろいろな情報が入る中で、劣

悪な状態を聞かされるたびに、私は将来、こんな所で生活するなんて嫌だナ…と考えさせられる。今、住んでいる家で介護者に交替で来てもらっての生活（片親が倒れ、居なくなった場合）が一番理想的であると思っっています。この計画が失敗したら、あくまで夢物語的ですが、その頃には多分、大阪にも二・三ヶ所位は出来るであろうケアー付き住宅に入ろうかな…とっています。いずれにしても、施設より地域で生きたいです。

山本 篤江

私は、子供の時から、今になるまで、家事らしい事をした経験がありません。

頭の中では、こうすればいい、ああすればいい、と、いうことが分かっているだけです。家の者は、体が不自由なんだから、それでいい、自分の身のまわりさえ、出来る様になれば…それが、今迄の私と家族の目標だったのです。私も、年頃になって

それに、比例するかの様に両親も、年をとってくるし、周りの、友達もだんだん、一人で暮す人も増えてきて、初めて、いつまでも、親とか周りの人に丸抱えになっていてはいけないんだ。たとえ卵焼きでも、一人で作れる様になりたい、それを今の家でやるという事は、難しいから、自分の思う様に使える場所が欲しい。そして、誰に束縛されることなく、自由に自分の出たいときには、外に出、帰りたい時刻に帰る。また、誰にも、気をつかわないで、友達を家に呼べるなんて、どんなにのびのびとしていいだろう。人に、手伝ってもらわれない生活というものを、一度でいいから、経験したい。それが、私の家から出て、一人で暮してみようかなと思う様になった動機なんです。

でも、実際は、住居の問題とか生活費のこと、そして、一番の難関は親の理解、もしくは、家族の理解がなくては、だめだということだが、今回、自分にとって大きな経験になりました。しかし、この経験を無駄にすることのないように、これからは内面的自立を目指して行こうと思っています。



## 第4回 大阪市リハビリテーション市民講座

第四回大阪市リハビリテーション市民講座が、十月十日、十一日、十二日の三日間、大阪市身体障害者スポーツセンターで開かれました。そのなかのひとつ「高石ともやとらくファッションショー」を山本篤江さん、旭純子さんにレポートしてもらいました。

### ● 障害者のためのファッションショー

○ 旭 純子

十月十一日（日）大阪市民リハビリテーション講座の「障害者のためのファッションショー」（於 長居スポーツセンター）を見学に行きました。

私は、仕事の関係で 大肢協（大阪府肢体不自由者協会）の関係の人たちがモデルとして出ていたので、半分ひやかしのつも

りで見に行ったのです。

数々の服の中には、車イス用兩コートとか、男性のスーツでも車イスに座った姿勢に合った仕立てに工夫されてあったり、中でも、なるほどと思ったのは、松葉杖（兩松葉）の男性のブレザーの体側部分（松葉杖が擦れる所）が、傷み易いというので、その部分だけレザーを用いて仕立てたもの

がありました。他にもワンタッチで脱ぎ着のし易いようなデザインもあり、なかなか機能的にも考えられたものもありました。

又、ウエディングドレスやパーティドレスなどは、かなり派手だったので、それを着て出ていたモデルの障害者にとって、初めての経験であったこともあり、あは、初めての女性はあるとで「舞台上で何かわからないけど、涙がたまってきて顔を上げられなかった」と複雑な興奮を打ち明けてくれました。

私自身、スポットライトに映し出された彼、彼女たちの姿に、えも云われぬ感慨がこみあげてきて、じんとしてしまいました。

あの服をデザインされた方々は、皆、本業でやっておられる方々ばかりのようでしたが、私は、もっと、障害のある人達が、自分たちの要求として「こういうところがこんなふうになっていたら…」というようなアイデアを出していったらよいと思います。アイデアという面では、やはり実際に使う者の立場から出てくる内容の方がずっと有効であると思うし、そういう企画を出していくということで、障害のある人

達が、受け手、から、創造者、へとなっていくことが可能なのではないかと思うからです。

そして、今回のような催しを通じて自分たちのニーズを色々な人々に知ってもらうことが大切であろうと思います。

さらに、あのようなニーズに合ったものが、特別なもの、としてではなく、ごくさりげなく店頭に並ぶようになったら、もっと安価で便利なものを、た易く手に入れられるようになると思います。

それは、サロンのめざす、助け手としての健常者、受け手としての障害者、という区別のない社会の精神にもつながるものではないでしょうか。



● らくらくファッションショーを見て

○ 山本 篤江

十月十一日に長居スポーツセンターで、大阪市社会福祉協議会主催ファッションショーが、開かれました。会場は、いつものスポーツセンターとは違う、重々しく、かつ、華々しい雰囲気、モデルでもない、私まで思わず緊張してしまうほどでした。

そうこうしている内に、ファッションショーの始まる一時三十分になって、いよいよ始まりです。総勢二十四人のモデルさんが、その場を飾ってくださいました。

主なファッションは、動きやすさ、着やすさ、そして、着させやすさを、中心に作られていて、あゝいうのが、手軽に、手に入ればいいな一と思いました。つぎに、車椅子に乗っている人の雨具とか、防寒具、そして、松葉杖をついている人は、脇の所が、すぐ駄目になるからそれを配慮して脇の所にレザーを付けてあるもの、もちろんオシャレっぽクですが。

後の方の何点かは、大阪モード学園の生徒さんたちの作品でした。これらは、今迄の物とは違い、とってもカラフルで、若い生徒さんの作品らしく、新鮮な感じがどことなく漂っている様に感じられました。

私が、一番というより、このファッションショーのハイライトとでも言うべきものは、ウェディングドレスでした。車椅子に乗った花嫁さん、ライトに照らされ、おすましさん。横に、誰か、いてれば結婚式会場に早変わり、早くそうなる様にガンバってください。花嫁さん。

二十四人のモデルさんが勢揃いしてフィナーレ、無事ファッションショーは、終了しました。

旭 純 子



友達が、数人出ていたせいか、一時間余りのショーだったのにハラハラ、ドキドキ二・三時間にも、感じました。聞いた所によると、モデルさん達は、朝の九時ごろから、準備に忙しかったそうです。昼食も着たままで、こまったそうです。

モデルさん、本当にお疲れさまでした。車椅子に乗っている私達にも、オシヤレは、いくらでも出来ることを教えてください。有難うございました。女性は、人に見られると、美しくなるといふのは、ほんとだったんですね。

### 3. 労働面

聴覚障害者の雇用に際しては、大がかりな設備改造等は肢体不自由者に比して必要性が小さいため、雇用しやすいと考えられる向きもあるが、企業内作業において重要な意味をもつ職場内コミュニケーションが難しいため、予想外に雇用率は低い。

ろうあ者にとって、職場におけるコミュニケーション障害は、上司や同僚との関係において深刻であるケースが多い。上司の指示が理解できなかったり、同僚に誤解されてミスやトラブルを起こし、それに対する説明や自己主張の機会を見いだせず、退職や転職といった直接的行動でしか解決手段をとれないろうあ者も多い。

その後、高石ともやさんのコンサートが二時間ほどありました。

あいにくこの日は、朝から曇りがちだったので、ファッションショー会場は、秋晴れそのものでした。こんな催し物は、毎年、続けてほしいです。

また技術革新による仕事への対応が困難

であることや、能力の如何にかかわらず、ろうあ者であることにより昇格の道が閉ざされていることも職場における問題点の一つである。しかし、それ以前に聴覚障害の正しい認識が社会に十分に広まっていないためや、聴覚障害者の国家資格取得制限を行っている法律もあり、職域、職種が狭められ、職業選択の自由が未だに保証されていない現状がある。

つまり、ろうあ者は職業選択の自由も保証されていない状況の中で職場の人間関係や作業の指示内容に神経をすりへらし、能力も無視されがちの職場環境での労働を余儀なくされているといえよう。



阿倍野区ボランティア交流会(第二回)

日時: 昭和六十二年十二月九日(水)

午後一時三十分～三時三十分

場所: 阿倍野区民ホール(文の里一  
一四〇区役所内 ☎621-1421)

参加費: 無料

△プログラム▽

○第一部(二時三〇分～二時三〇分)

講演会「ボランティアと地域」

講師 佐藤 宣三郎 先生(精神薄  
弱者通所施設 大和川園々長)

○第二部(二時三〇分～三時三〇分)

交流会



ぬくもり感じた「平和寮」バザー

十月十八日(日)、盲児童福祉施設「平和寮」(阪南町三丁目)の第二回バザーが開かれた。

同寮生の無替幸一君(高一)の案内で、会場を見学。とくに、目の不自由な人たちが使う道具や教育機器類の展示コーナーでは、ひとつひとつ、手を添えて熱心に説明を、また、ハムコーナーでは「こちらJG 3ZAA 応答願います。どうぞ」と交信、同君の電話級の腕前を披露してくれた。

このバザーがきっかけで盲児たちとのふれあいの輪が広がれば...と思う。(石)

お知らせ

△サロン・あべの▽十二月の出会い

日時 昭和六十二年十二月五日(土)

午後一時～四時半

場所 育徳コミュニティセンター二階  
研修室(阪南町五丁目十五一二八)

スロープ、車イストイレ有り

内容 クリスマスの集い(手話通訳有り)

会費 一人 一〇〇〇円と、プレゼント  
三〇〇円程度の品をご用意下さい。

申込み締切日 十一月二十八日

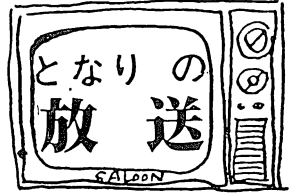
申込み先 電話〇六一六九一一〇二八  
富田慶子迄

日々のよろこび添えて

サロン・あべのに贈るリ灯饰

十一月のカンパ合計一五〇円

ありがとうございました。



吉田たろう氏個展

季節の小人たち《モム》展と題して吉田たろう氏の個展が十一月十七日(火)〜二十二日(日)まで心齋橋ソニータワー9Fで開催される。

なお開期中の十七日(PM5:00〜7:00)に障害者グループ「デュワック」を中心にカレンダー関係者が大集合(無料)。

二十一日(PM3:00〜7:00)には「たろうさんをサカナに井戸端会議パーティー」(会費¥3000・カレンダー付き)がそれぞれ催される。

詳しくは、エーデザイン・たかしな(三五二一三六四七)まで。

編集後記



参加者のある人は、「ボールを投げてピンに当たるまでの僅かな時間に 当る! 当らない! 真直ぐに行く! 曲る! など 様々な思いが胸中を交錯する パカーンとびん

参加者のある人は、「ボールを投げてピンに当たるまでの僅かな時間に 当る! 当らない! 真直ぐに行く! 曲る! など 様々な思いが胸中を交錯する パカーンとびん

が倒れる?! その間の何秒かの心の動きに、ボウリングの面白さがある、といい、また別の人は、「ピンが倒れる あの小気味よい音は 快感そのもの」とも話していた。

台風の余波で、車イスの運行、あるいは外出が思うにまかせず、止むを得ず、不参加という人があったと聞きます。次回は天候にじやまされずに楽しく、明るく、ユニークに、めいっばい遊ぶこと、宣言します!

切手のカンパを田中句子さんより、いただきました。ありがとうございました。(石)

手話サークルリ文の里

クリスマス パーティー

日時 六十二年十二月十三日(日)

十二時〜四時(受付開始十一時)

場所 長池幼稚園「阿倍野区阪南町五

二一二十六」 ☎六二二一三四四

参加費 大人一〇〇〇円 小人七〇〇円

(プレゼントは各自五〇〇円まで

で用意して下さい。)

主催 阿倍野区聴言障害者協会

☎六二二一〇八五九(川辺貴久)

手話サークルリ文の里

☎六二二一七六一(天田順子)

<サロン・あべの>第17号

発行日 昭和62年11月14日(土)

発行・編集<サロン・あべの>運営委員会

[大阪市阿倍野区阪南町6-3-26

電話(06)691-1028富田慶子]

印刷 セルフ社 電話(06)652-0337